

WALKING MAP

～自然の小径～

湯ノ湖1周

3 kmコース

気楽に歩ける散歩道



休暇村日光湯元

栃木県日光市湯元温泉

TEL 0288-62-2421

⑨ 湯ノ湖に咲くお花たち

新緑の季節を迎える5月以降は湖畔でお花をチラホラと見かけます。ピンク色のアカヤシオ、鮮やかな紫色のトウゴクミツバツツジを始め、湯ノ湖西岸～南岸にかけてはアズマシャクナゲ、オレンジ色のレンゲツツジなど夏の湯ノ湖は色とりどりのお花に彩られます。



湯ノ湖西岸のシャクナゲ

⑩ 謎の泡が発生!

湯の湖の湖畔や湯川沿いでは何やら不思議な泡が…。まさか科学汚染物質??? イエイエ違います。これは、葉っぱや温泉などの養分が波で集められた『多糖類』と呼ばれる栄養のかたまりなのです。湯の湖だけでなく、湯川にも同じような現象が見られます。栄養が豊富な証拠だと思えますが、初めて見るときはちょっとビックリしますね。自然でホントに不思議ですね～。



～ウォーキングについて～

- ウォーキングはひとそれぞれのペースで楽しむことが大切です。
- スニーカーやウォーキングシューズなどの歩きやすい靴を着用しましょう。
- ウォーキングによって生じる疲労を回復するためには、休息をたっぷりとることが大切です。
- こまめに水分補給を行いましょう。

⑥ マス釣りのメッカ! ～湯ノ湖～

ヒメマス・ホンマス・ニジマス・カワマスなどのマス釣りで人気を集める湯ノ湖。5～9月までの期間で楽しむ事ができ、イベントも各種行われています。湯ノ湖では全域釣魚可能ですが、時間は日の出から日没まで、制限尾数は20匹までとなっております。



トラウトフィッシングフェスタ (毎年5月1日開催)

⑦ 日光湯元温泉

湯元温泉の歴史は、今から約1,200年前に勝道上人が延暦7年(788年)に発見し、「薬師湯(瑠璃湯)」と名付けたのが始まりとされます。湯元温泉は当初、二荒山温泉(ふたらさんおんせん)と呼ばれており、湯守が管理する共同浴場として利用されてきました。明治時代の記録によると、鶴湯・河原湯・純子湯・中湯・滝湯・姥湯・御所湯・笹(篠)湯・自在湯・荒湯の10カ所の共同浴場が確認されています。現在は、共同浴場から旅館・ホテル・足湯へと姿を変え、旅客の疲れを癒しております。



⑧ 湯ノ湖

1周が約3kmの湯ノ湖。湖の半周が木道で整備されて歩き易くなっています。歩道沿いにある10間の湯ノ湖周辺の自然に関する設問は、奥日光のパークボランティア監修によるもので、なるほどと思う問題がたくさん! 散歩ついでに問題を解いてみましょう!

① 休暇村の周辺の自然



まわりをシウリザクラやウラジロモミジ、シラカバ、ダケカンバなどの木々に囲まれています。よ〜く見ると、苔むした倒木がちらりと見かけます。これは次世代の木々の為の苗床として役割を担っており、貴重な栄養源となっています。

② パワースポット！ ～元気の木～

本館脇にたたずむ老木はカラマツの木です。樹齢は約400年と言われており、休暇村のシンボルとして多くの方々に愛されています。長い年月をかけて高さ15m、周囲は5m41cmという巨木となりました。一時的に根本が腐り、瀕死の状態となったこともありますが、木のお医者様の丁寧な治療によって元気をとりもどし、見る者に元気を与えてくれます。



③ 湯ノ湖の絶景

晴れた日には、湯の湖越しに男体山も眺める事も出来ます。



④ 国立公園&世界遺産&ラムサール条約

世界的な観光都市として知られる日光市。豊かな自然と歴史に恵まれ、国立公園と世界遺産に認定されているのは誰もが知っていると思います。じつは日光市は「ラムサール条約」という条約にも登録を受けており、水鳥の生息に重要な湿地帯として湯ノ湖～湯川～戦場ヶ原・小田代ヶ原にかけて認定されています。湯ノ湖～湯川にかけては、カモが多く見ることが出来ます。



⑤ 湯気の立つ湖

湯元温泉の入り口の湖岸に、石で囲った湯気が立ちのぼる湯だまりがあります。温泉を掘削している井戸からの流入と、湖岸から沸き立つ温泉の影響で水面を乳白色に染めています。源泉は約70℃もあり、湖の水と相まってやや熱めの湯加減になっています。湯ノ湖には大きな鯉が住んでおり、温泉が好きなのか、なぜかこの近くに集まってきます。

